

西成区教育行政連絡会プロジェクトチーム会議について

《プロジェクトチーム会議設置の経過について》

「西成区が変われば大阪が変わる」との理念のもと、資源や人材を集中的に投入し、課題解決を進めてきた「西成特区構想」について、引き続き令和5年度より「第三期」として、5年間の取組を実施している。

○第三期特区構想のめざすところ

若年層を中心に既に増加している転入者をさらに増加させる取組と、子育て世帯の転出を抑制させる取組により、人口減少に歯止めをかける。

○教育分野における取組

「教育するなら西成区」をめざし、西成区の教育環境に対するイメージアップを図るために、「大阪市平均の学力」、「不登校の実質ゼロ」の実現に向けて小学校入学から中学校卒業までの全体を見据え、子育て世帯の幅広いニーズに応える施策を実施する。

《プロジェクトチーム会議での議論内容について》

第三期西成特区構想における教育分野での目標達成に向け、西成区教育行政連絡会においてプロジェクトチームを立ち上げ、令和4年度は11回、令和5年度は9回開催し、議論を行った。

○主な議論内容

- ・「大阪市平均の学力」、「不登校の実質ゼロ」に向け、学力に課題のある児童生徒や不登校の要因分析結果に基づいた対応策の検討
- ・既存の西成区教育関連施策の改善に向けた検討
- ・新規事業実施に向けた実施手法の検討 等

○主な意見と対応策

不登校児童生徒への対応について

主な意見	対応策
こども生活・まなびサポート事業における登校支援・見守りサポーターが、別室登校している生徒の支援をすることで登校できている生徒が居るが、一方で登校支援の手が足りていない。	こども生活・まなびサポート事業（居場所支援）を実施（Ｒ６～） 登校支援 をするサポーターと 居場所支援 をするサポーターで業務を分担
不登校の児童生徒の中には、そもそも家から出られない児童生徒もいるため、当該児童生徒に対する支援も必要。	こども生活・まなびサポート事業において、 訪問支援 を実施（Ｒ６～）
不登校児童生徒の支援を行うには、多様なつながり先の確保が必要。	支援先リストを作成 し、こどもサポートネットＳＳＷ・推進員による支援先へのつながりを行う（Ｒ５～）

基礎学力の向上について

主な意見	対応策
学力に課題を抱える要因として、学力を向上させる前段階の学習姿勢が身に着いていないことが挙げられる。	こども生活・まなびサポート事業（ 学習姿勢向上 ）の実施（Ｒ５～モデル実施、Ｒ６～本格実施）
基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）には、幅広い学力の児童が参加しているので、ニーズに応えられると良い。	基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）における 習熟度別授業 （Ｒ５～）
北津守地域には、学習塾等が少ないため、更に学習したい児童生徒の学習の機会が制限されている。	基礎学力アップ事業（西成まなび塾）を 北津守小学校等で実施 （Ｒ５～）

さらなる学力の向上について

主な意見	対応策
高校受験に向けて、模擬試験を実施し生徒の苦手分野に対応した問題を使って指導を行うことで学力の向上が期待できる。	学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業の実施 （Ｒ６～）
家庭環境により、学習意欲は高くても、学習に向かえない児童生徒が学習できる機会があると良い。 基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）に参加する学習意欲のある児童が、高学年になっても通うことができる受け皿があると良い。	発展型学習支援事業の実施 （Ｒ６～）

日本語指導が必要な児童生徒の支援について

主な意見	対応策
区内で帰国・来日等の児童生徒が増加傾向にあり、日本語（生活言語）が分からず学校生活で困っている児童生徒が多くいる。	帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業におけるサポーターの 配置時間数の増 （Ｒ６～）
学力に課題を抱える要因として、日本語指導が必要な児童生徒が学習言語の定着にまで至っていないことが挙げられる。	外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業の実施 （Ｒ６～）

学習意欲の向上について

主な意見	対応策
学力調査等で、物語の良さを問われる問題があるので、参加賞を用意し、感想文を提出してもらってはどうか。 こどもの読書活動推進支援事業の賞状を区長から直接いただくと、児童生徒のモチベーションが上がる。	こどもの読書活動推進支援事業において、読書のきっかけづくりのために、 ふりかえりシート を導入、 区長表彰 の実施（Ｒ４～）
自発的な学習に導くには、内発的動機付けが必要であり、きっかけが必要。学校は、小学生に対して校区外の場合に子どもだけで行くことは推奨しにくい。	プレーパーク事業の 巡回型開催、イベント開催 を実施（Ｒ５～）

令和4年度プロジェクトチーム会議

開催日	回次	議題	備考
5月19日	第1回	学力に課題のある児童生徒や不登校が多い属性について	
5月27日	第2回	学力への影響要因について	
6月28日	第3回	不登校の影響要因について キャリア教育について	
7月26日	第4回	学力向上、学習意欲向上にかかる取組みについて	
8月23日	第5回	基礎学力向上策(ジャガピースクール、まなび塾)、不登校について	
9月14日	第6回	基礎学力向上策(ジャガピースクール、まなび塾)、不登校について 学習に向かうことが難しい層への支援策、読書活動について	予算要求
10月28日	第7回	こどもの読書活動推進支援事業、西成ジャガピースクール、プレーパーク、学習姿勢向上、不登校対策について	
11月11日	第8回	こどもの読書活動推進支援事業、西成ジャガピースクール、学習姿勢向上、不登校対策、学力向上(日本語指導の必要な児童生徒)について	
12月22日	第9回	日本語指導の必要な児童生徒の学力向上、成績区分Ⅰに対する取組み、不登校対策、こども生活・まなびサポート事業(学習姿勢向上)の効果検証について	
1月31日	第10回	日本語指導の必要な児童生徒の学力向上、成績区分Ⅰに対する取組み、不登校対策、こども生活・まなびサポート事業(学習姿勢向上)の効果検証について	
3月22日	第11回	今年度のまとめ、不登校対策など	

令和4年度西成区教育行政連絡会プロジェクトチーム会議名簿

【西成区役所】

氏 名	職 名
柏木 勇人	副区長兼西成区教育担当理事
宇野 新之祐	子育て支援担当課長兼教育担当課長

【小学校】

氏 名	職 名
末綱 健二	千本小学校長
川西 邦彦	橘小学校長
米谷 敬一	まつば小学校長
辻 信行	北津守小学校長

【中学校】

氏 名	職 名
角田 眞章	天下茶屋中学校長
児玉 敏和	成南中学校長

【教育委員会事務局】

氏 名	職 名
高松 幸織	指導部 初等・中学校教育担当 第3教育ブロックグループ 総括指導主事
浦 源之郎	指導部 初等・中学校教育担当 第3教育ブロックグループ 指導主事
田中 秀樹	指導部 初等・中学校教育担当 第3教育ブロックグループ 指導主事

令和5年度プロジェクトチーム会議

開催日	回次	議題	備考
6月2日	第1回	日本語指導（学習言語の習得に向けた検討） 不登校対策（新規つながり先の検討）	
6月27日	第2回	日本語指導（学習言語の習得に向けた検討） 不登校対策（新規つながり先の検討） 登校支援・見守りサポーター配置基準 令和6年度校長経営戦略支援予算案について	
7月14日	第3回	不登校対策（新規つながり先の検討） 成績上位層対象事業 （チャレンジテスト、まなび塾新コース）	
8月8日	第4回	不登校対策（新規つながり先の検討） 成績上位層対象事業 （チャレンジテスト、まなび塾新コース）	
8月29日	第5回	不登校対策（新規つながり先の検討） 令和6年度校長経営戦略支援予算案について 既存事業の効果検証・見直しについて （学習姿勢・プレーパークなど）	
9月12日	第6回	既存事業の効果検証・見直しについて （ジャガスク・まなび塾など）	予算 要求
12月4日	第7回	予算要求の進捗について 令和6年度事業の実施手法について	
1月29日	第8回	令和6年度事業の実施手法について	
2月28日	第9回	1年間のまとめ ※第4回西成区教育行政連絡会と第9回PT 会議を兼ねて開催	

令和5年度西成区教育行政連絡会プロジェクトチーム会議名簿

【西成区役所】

氏 名	職 名
柏木 勇人	副区長兼西成区教育担当理事
宇野 新之祐	子育て支援担当課長兼教育担当課長

【小学校】

氏 名	職 名
長谷 由紀夫	千本小学校長
大無田 信教	岸里小学校長
石橋 博康	まつば小学校長

【中学校】

氏 名	職 名
緋田 隆平	鶴見橋中学校長
西田 清盛	玉出中学校長

【教育委員会事務局】

氏 名	職 名
高松 幸織	指導部 初等・中学校教育担当 第3教育ブロックグループ 総括指導主事
中村 純	指導部 初等・中学校教育担当 第3教育ブロックグループ 指導主事
國方 健太	指導部 初等・中学校教育担当 第3教育ブロックグループ 指導主事

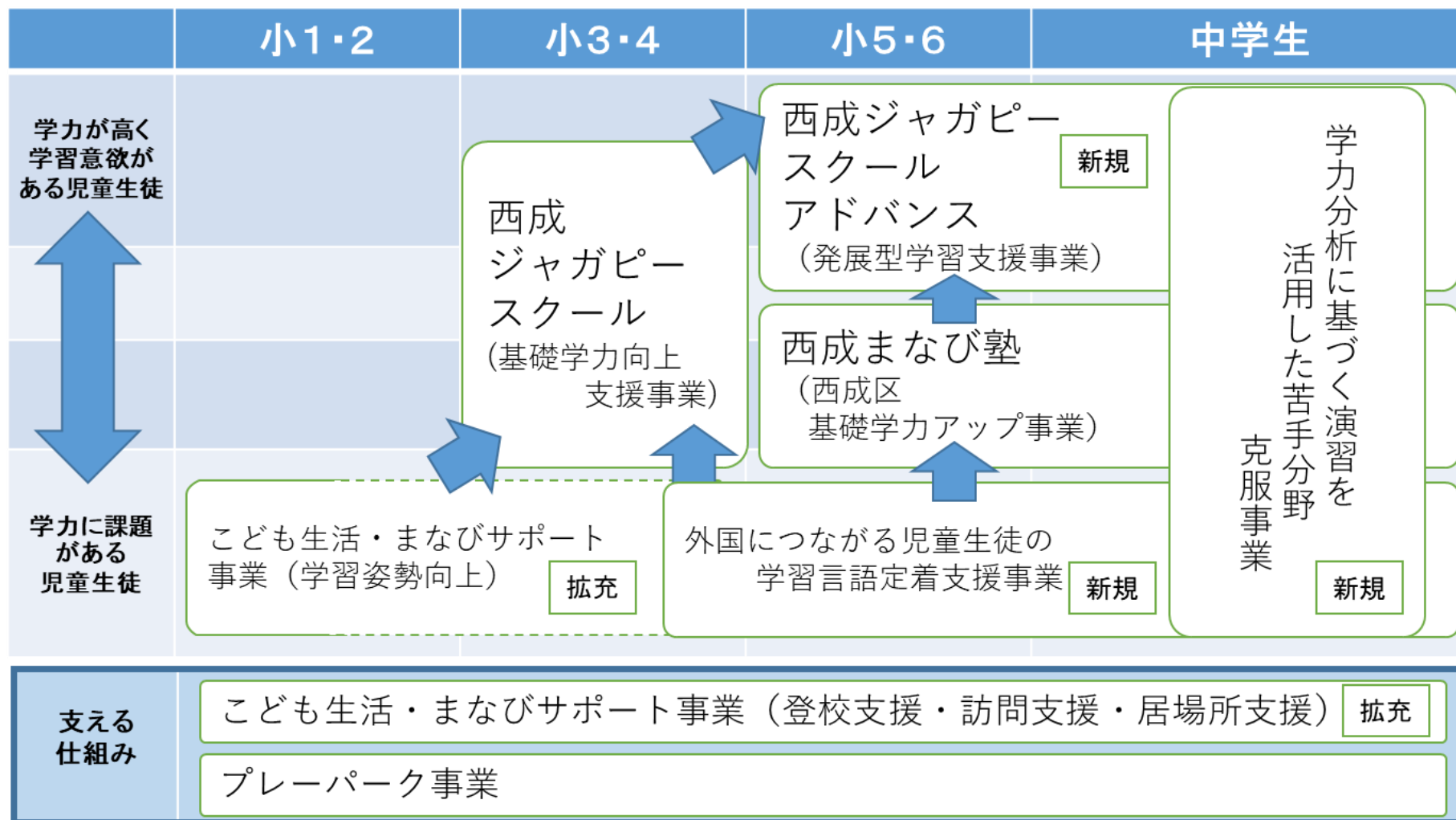
学力向上に向けた区施策イメージ「教育するなら西成」

第三期西成特区構想：人口減少に歯止めをかける。

18～25歳の若年層が流入増加も、就学前世帯（ 0～5歳・25～35歳 ）は転出超過。

⇒まちづくり（住環境）とともに、教育環境を充実し、住み続けてもらう。

◆子育て世帯の幅広いニーズに応え、「大阪市平均の学力」「不登校の実質ゼロ」の実現に向けて取り組む。



不登校の実質ゼロに向けた取組

重度

児童生徒の不登校の度合い

軽度

児童生徒の様子

家から出られない
家から出られず、
どの支援にも繋が
っていない

学校に行けない
学校のルールや人
間関係に馴染めず、
在籍校に行くことが
できない

教室に入れない
学級のルールや人間
関係に馴染めず、登
校しても教室に入れな
い

登校できない
遅刻・行きしぶりな
ど、家から学校に行
くための支援が必要

不登校につながるおそれ
がある
席につけない、話をきいていないな
ど学習姿勢が身についていない

～R5の取組

こどもサポート
ネット事業

登校支援 ※人手が不足

学習姿勢向上
(モデル実施)

R6～の取組

業務内容追加
訪問支援

こどもサポート
ネット事業

拡充
居場所支援

登校支援

実施校拡大
学習姿勢向上

こども生活・
まなびサポート
事業の取組み

区内小中学校に
サポーターを配置
(登校支援と兼任)

区内中学校に
サポーターを配置
居場所の環境整備

区内小中学校に
サポーターを配置
(訪問支援と兼任)

区内小学校に
サポーター及び
有償ボランティアを配置

支援内容



自宅に訪問し、学
習支援や相談対応
など、不登校によ
る不利益を補う支
援を行う



つながり先を整理
し、教育支援セン
ター、フリースク
ールなど学校外の
支援機関へのつな
ぎを行う



別室登校の支援を行
い、教室に入れない
児童生徒を段階的
に登校できるようにする



電話や家庭訪問
などにより学校に
通えるようにする



座って学習する、話を聞くな
どの学習姿勢定着に向けた
個別の支援を行う

不登校者在籍率を大阪市平均に近づけ、不登校の度合いや状況に応じたつながり先を確保し、
全員が何らかの支援につながっている「不登校の実質ゼロ」を目指す

学習姿勢を定着させ、
学力の向上を目指す